

南沢獅子舞



氷川神社（昼）



多聞寺（夜）

みなみさわし しまい
南沢獅子舞は、江戸時代初期から旧南沢村に
伝わる伝統芸能で、五穀豊穰と悪疫退散を祈願
して奉納されてきました。

腹に太鼓をつけた三頭の獅子が舞う「一人立ち
三匹獅子舞」の形式で、これに太刀、世流布、
神楽、万歳の芸能も一緒に行われます。昔は南
沢村の長男のみに限り伝承されてきましたが、
現在は南沢在住の「南沢獅子舞連」によって4
年ごとの秋祭り（10月中旬）に演じられます。
当日は、午後に南沢氷川神社、夜に多聞寺で行
われます。また、前日の夜には多聞寺で「揃い」
と呼ばれる全体練習も行われます。南沢獅子舞
は、貴重な伝統芸能として昭和42年に東久留
米市無形民俗文化財に指定されました。

このパンフレットは、南沢獅子舞の演目の
概要を解説したものです。

行列と踊り込み

獅子舞は宿から踊りこむ形をとります。現在は多聞寺（公会堂）で「仕度笛」の笛・太鼓に合わせて舞い手3人が衣装を着けて準備をします。その後、氷川神社まで「道^{みち}笛^{ぶえ}」に合わせて①ほら貝②山の神^{のぼり}③幟^{たかはり}2本④高張^{たかはり}2本⑤花笠^{はながさ}2名⑥獅子⑦長持ちの順で行進します。神社に着くとおはらいをして、練り込み、鳥居前から山の神が先導して「踊りこみ」を行います。



太刀つかい

白抜きの升形紋をつけた印半纏^{ますがたもん}の奴姿^{しるしばんてん}の2人が木刀^{やっこすぎた}を腰にさし、右手に六尺棒をもって「ヤアーツ」と気合をかけあいながら力強く打ち合います。その後に木刀で打ち合う迫力のある太刀つかいです。そして、仲裁役の世流布^{せいらふ}が舞庭に出ると退場します。



世流布

世流布は「しばらく、しばらく」と言いながら登場します。歌舞伎十八番のひとつの「暫(しばらく)」の真似事芸^{まねごとげい}で、形をつけながら口上^{こうじょう}（こうじょう）を述べます。大きな太刀が特徴で、悪人退治の物語りです。口上は、氷川神社と多聞寺では内容が異なっています。



神楽 (おかめ・ひょっとこ)

神楽^{かぐら}笛の前奏で「おかめ」がゆっくり登場します。次に道化面^{どうけめん}、背中にすげ笠とすりこぎを背負った「ひょっとこ」が出てきて、2人が向かい合い、笛に合わせてユーモラスに踊ります。最後に抱えあうように退場すると、山の神が躍り出て、獅子舞となります。



獅子舞

獅子舞は一人立の三頭で、腹に太鼓をつけて舞います。赤の衣装が雌獅子です。紺の衣装が中獅子と大獅子です。中獅子は頭に金色と黒の四角い角を持ち、大獅子は頭に赤と黒のねじり角を持っているのが特徴です。

◆獅子舞の流れ

①山の神の先導により雌獅子が登場する

山の神は「山の神面」をつけ、赤い上衣を着ています。右手に「はねうちわ」(軍配)左手に幣束へいそくを持っています。「幣負いぐんぱい (へいおい)」笛にあわせて舞いますが、3節舞ったところで山の神は退場します。

②中獅子の退り(しゃり)

前奏の後に吹き切り笛で中獅子が登場します。腰をしゃがめて体をくねらせながら後ろにさがる「退り(しゃり)」を2度舞います。

③大獅子の退り(しゃり)

前奏の後、高音部に入ると大獅子が登場。2度退りを舞います。3度目に中獅子と2頭で「助け退り(すけしゃり)」を2度舞います。

④歌笛

雌獅子、大獅子、中獅子の3頭が輪になり笛→歌→笛→歌→笛の順で舞います。歌が始まると3頭は内側を向き合い、歌に合わせて太鼓のふちをコツコツと打ちます。歌の内容が氷川神社と多聞寺では異なります。



山の神の先導により雌獅子が登場する



大獅子の退り



歌笛

南沢獅子舞い歌

◆氷川神社

千早ちばや振る 神の絵え圍い垣がきに
松を植えて 松もろともに
氏子繁盛

この獅子は 伊勢が生まれで
江戸育ち 腰に差したる
伊勢の御ご被ひい

◆多聞寺

朝日差す 夕日輝やく
この寺は 桜色なる
ちごのたたれそ

参り来て 奥の仏壇が
見もうせば 香の煙が
ほのやかに立つ

⑤ トーハヤロ (笛の音)

序盤：花笠の回りを3頭で舞います。

中盤：雌獅子めじしが花笠の後ろに隠れ、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う舞をします。

終盤：雌獅子が出てきて、中獅子と大獅子が雌獅子の奪い合いをします。



中盤：雌獅子めじしが花笠の後ろに隠れ、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う舞をする

⑥ タリロ (笛の音)

序盤：花笠の回りを3頭で舞います。

中盤：雌獅子めじしが花笠の後ろに隠れ、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う舞をします。

終盤：雌獅子が出てきて、中獅子と大獅子が雌獅子の奪い合いをします。



終盤：雌獅子が出てきて、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う

⑦ 岡崎

岡崎ヒャーヒャーという笛の音になり、3頭の獅子は3拍子(足を3歩ずつ踏んで前に進む舞方)で花笠を回ります。

⑧ 三拍子

笛の3拍子によって、3頭がー列に並び、正面まで進んでは退くことを3回繰り返し、前に出たところで笛が切れると「拜」(礼)をして退場します。



岡崎：3頭の獅子が3拍子で花笠を回る

まん ざい 万 歳

万歳は多聞寺のみで行われます。獅子舞が終わると、太夫たゆうと才蔵さいぞうの2人が正面に出て、掛け合いで万歳を演じます。曲目は修験道の大峯入りを題材にした「大峯万歳」で、現存する江戸時代からの数少ない伝承例です。昔の言葉のまま行われており、内容は分かりにくいですが、コミカルな動きに笑いをさそわれます。



発行：南沢獅子舞連(東京都東久留米市南沢)

制作協力：東久留米市教育委員会生涯学習課文化財係(東久留米市郷土資料室)

※無断転載はしないでください ※写真は平成17年実演のものを中心に使用しました(市教育委員会撮影)。

平成21年8月制作